

佐久穂町イェナプラン スクール設立準備新聞

第三号
発行元
一般財団法人佐久穂町
イェナプランスクール
設立準備財団

「小学校名を検討する会」で
学校法人名と小学校名が決定

十二月三日、旧佐久東小学校ランチル
ームにて、弊財団が設立を目指す小学校

の「学校名を検討する会」

を開催いたしました。大日
向地区の方々を中心に、財
団メンバーも含め、二十二
名での検討となりました。

まずは、私たちの学校設

立の目的「誰もが、豊かに、
そして幸せに生きることの
できる世界をつくる」とい
うことについて「設立趣意」
を読みながら、改めて共有
をさせていただき、これら
が実現できる名前にした
い、ということをお伝えす
るところからスタートしま
した。

その後、三つのグルーブ
に分かれて、①自己紹介②
司会進行役と書記役を決め

る③小学校名のアイデアを
とにかくたくさん出す④ア
イデアを各グルーブ二つの

候補にしぼる⑤二つの候補
について「なぜこの名前を
選んだのか」を全体に共有

⑥六つの候補をもとに理事
会で検討し決定⑦参加者の
皆さまに発表、という流れ
でおこないました。

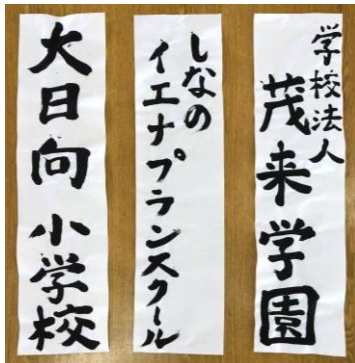
本当に多くの名称アイデ
アを頂いただけでなく、大
日向地域への想いや、旧佐
久東小学校への想い、そし
て町の未来についての想い
など、本当にたくさんお聞
きできたことが財団メンバ
ーにとってはとても大きな
価値となりました。

学校名は、「大日向小学
校」と決定しましたが、「茂
来」「豊幸」「八ヶ峰」「信州」
「銀杏」「山村」「コブ太郎」

「ぬくい」などなど、今後、
校歌や教室名などにも活用さ
せていただけるような言葉を
頂戴しましたので、すべて参
考にさせていただきます。ま
た、「茂来」というアイデアも
多く出たことを受けて、「学校
法人茂来学園」という名前に
させていただくことも急遽決
定いたしました。もし今回の
ような会を設け、皆さまと意
見交換ができれば学校名
も学校法人名も違ったものに
なっていたと思います。
名前も決定し、来年六月の
設立申請に向けてますます気
合いを入れて頑張ります。



「大日向」を学校名にするにあたって
財団代表理事 中川綾



学校名を決めるにあたっ
て、「私立学校なのだから、
地域の人たちと決める必要
はないのではないか」とい
う声もなかったわけではあ
りませんでした。しかし、
私たちとしては、「地域の
方々にも愛していただける
名前にした」という強い
願いもあり、今回のような
場を持たせていただきまし
た。そして、皆さまからお
声を頂戴したことは、私た
ちが想像していたよりもず
っとずっと重要なことだっ
たのだと、実際にお話をさ
せていただいで改めて実感
した、というのが本音です。

「大日向」という古くか
らこの土地に続く地名と、
「茂来」という地域の方々
に愛される象徴的な山の名
前を校名に付けさせていた
だくことを、とても嬉しく
思うと共に、身の引き縮ま
る気持ちでいっぱいです。
実は、「地域の名前ではな
く、もっと新しい今までに
無い名称にしたらいん
だ」というお声も地域の方
からいただきました。それ

は、「この地域は新しく生まれ変わらなければならぬのだから、地域の名前を背負う必要は無い」という強い思いが、ひしひしと伝わる言葉でもありました。その想いを知り、私たちが今思うことは、「だからこそ」、古くから地域の多くの方々から愛されている名前を学校名にあえて付けさせていただき、広い世界の多くの方々にもその名を愛してもらえような学校を地域の皆さまと共に作りたいたいということでした。生意気かもしれませんが、心の底からそう感じました。検討会となりました。

六月に認可申請をする学校法人名と学校名がやっと決まって、弊財団は、これから「学校法人茂来学園」と「大日向小学校」の設立に向けて活動を続けます。そして、「しなのイエナプランスクール」という通称名を正式に付けられるようイエナプラン教育のコンセプトに、より真摯に向き合います。

多くの皆さまにお力を借りしながら、引き続き頑張りますので、どうぞよろしくお願いたします。

ちいさなニュース

まだまだ現役

銀杏洗濯機



『銀杏文庫』というのを作っていたんだよ」というお話の方々に伺いました。財団メンバー一同、その取り組みにとても感動し、「銀杏文庫」を復活させたいと話しておりました。

そこでまずは銀杏の収穫に挑戦するべく、アンテナさくほの佐塚さん、そしてかつて佐久東小学校で銀杏の収穫作業を中心になって行われていた高見澤さんからお話を伺い、作業手順やポイントを教えていただき、さっそく取りかかりました。足の踏み場もないくらい、一面に広がる銀杏・・・スタッフ数名で小一時間ほど拾ったところ、大きなザル二杯分(量)を試みたら約二・六キログラムになりました。ここで、昇降口に眠っていた銀杏の果肉を取るための「銀杏用洗濯機」の出番です。電源に繋ぐとゴゴッと動き出し、まだまだ現役であることに一安心。はがれた果肉をすくい出し、よく水洗いして、天日干しを数日(更にこちらと一緒)にこの銀杏を拾った後、室内干しを三週間ほど行って、売れた分のお金

大日向にお住まいの皆さまはよくご存知の、旧佐久東小学校の校庭にある立派なイチヨウの木。「校名を検討する会」でも「イチヨウ」や「銀杏」がキーワードとして挙がるくらい、この学校の象徴の一つですよね。その銀杏の実が落ち始めた頃、地域の皆さまから「学校があつた頃は、子どもたちと一緒にこの銀杏を拾って、洗って、干して、売って、行った、売れた分のお金



「ご参加くださった皆さまに、少量ですがお土産としてお持ち帰りいただきました。皆さま「あ！この銀杏は・・・(笑)」と喜んでいただけただけで、良かったです。学校設立準備の一環として、こうして佐久東小学校で行われていた活動を復活させることにも、少しずつ取り組んでいきたいと思えます。



財団スタッフ紹介

11月から佐久穂町に移住
事務局 塚原 諒



この十一月から財団メンバーの塚原が佐久穂町海瀬に住み始めました。「大日向小学校」の設立に向けて町内を駆け回りますので、どうぞお見知りおきください！

プロフィール

- 【名前】 塚原 諒 (つかはら りょう)
- 【出身地】 群馬県 高崎市
- 【特技】 チラシ作り
- 【好きな食べ物】 ドーナツ
- 【佐久穂町の皆さまへ】

佐久穂の晴れ日の多さと野菜の美味しさ、そして寒さ(笑)にびっくりしています。お呼びいただければどこへでも参りますので、ぜひ気軽にお声がけください！